

2025年2月3日
スカイマーク株式会社

ENEOS株式会社から持続可能な航空燃料(SAF)の調達を開始します



スカイマーク株式会社(以下:スカイマーク、本社:東京都大田区、代表取締役社長執行役員:本橋^{もとはし まなぶ} 学)は、ENEOS株式会社(以下:ENEOS、本社:東京都千代田区、代表取締役社長 社長執行役員:山口^{やまぐち あつじ} 敦治)と、日本における持続可能な航空燃料(Sustainable Aviation Fuel、以下:SAF)の売買に関する契約を締結しました。

2025年2月4日(火)から2025年3月末にかけて、羽田発那覇行の運航便向けに、一定量の廃食油由来のSAFを混合した航空燃料が納入されます。

スカイマークは、2050年までにCO2排出量を実質ゼロにすることを目指しており、2030年に「当社が使用する航空燃料の10%をSAFに置き換える」という目標の達成に向けて、今回初めてSAFを調達することとしました。

今回の調達は、その目標達成に向けた重要なマイルストーンです。

従来のジェット燃料

石油 → 燃料油 → ジェット燃料 → 燃焼 → 水蒸気&CO₂

既存のジェット燃料は、利用することでCO₂を増やしてしまう。

SAF (持続可能な航空燃料)

植物 → 加工 → 燃料油 → SAF → 燃焼 → 水蒸気&CO₂

SAFは廃食油等の廃棄物由来のものが多く、原料の生産過程でCO₂を吸収しているため実質的なCO₂排出量を抑えることができる。

特別企画 座談会

ENEOS × SKY

新燃料「SAF」を知っていますか?

航空業界の重要課題の一つであるCO₂排出量の削減へ向けて、新燃料「SAF」導入への動きが高まっています。今回はENEOS社×スカイマークのサステナビリティ推進担当との座談会の様子をお届けします!

ENEOS株式会社
産業エネルギー部
航空燃料グループ
山口 竜之祐さん

ENEOS株式会社
産業エネルギー部
CN推進グループ
大西 良樹さん

スカイマーク株式会社
経営企画部 事業推進課
山火 聡子さん

スカイマーク株式会社
経営企画部 経営戦略課
課長補佐
八重樫 創生さん

スカイマーク株式会社
経営企画部 経営戦略課
時田 祐希さん

また、スカイマークの機内誌『空の足跡』3月号では、SAFをみなさまにとって身近に感じていただけるよう、特別企画「新燃料『SAF』を知っていますか?」を掲載します。本企画では、ENEOSとスカイマークでSAFを担当している社員が、SAFの可能性や今後の展望について、座談会形式で語り合います。航空業界における脱炭素化の取り組みをより多くの方々に知っていただく機会として、ぜひご一読ください。

スカイマークは今後も、温室効果ガス排出量の少ない航空機の導入やSAFの利用に向けた取り組みを推進し、「あらゆる人々に、安全で安心かつ高品質な航空サービスを、身近な価格で提供する」ことを通じて、社会の持続的な発展に貢献できるよう取り組んでまいります。

以上

<ご参考>スカイマークのサステナビリティ情報 <https://www.skymark.co.jp/ja/company/#sdgs>

「サステナビリティ基本方針」

「空」を通じて、社会をより良く。

スカイマークは、公共交通インフラとして、我々のミッションである「あらゆる人々に、安全で安心かつ高品質な航空サービスを、身近な価格で提供する」ことを通じて、社会の持続的な発展に貢献します。

スカイマークのサステナビリティ

スカイマークの存在意義。それは「空」を通じて、社会をより良くすることです。当社の事業である「航空機でヒトとモノを運ぶ」ことを通じて、社会の持続的な発展に貢献しています。

「航空機でヒトとモノを運ぶ」を少し掘り下げてみましょう。私たちはただ航空機を運航しているのではありません。「あらゆる人々に、安全で安心かつ高品質な航空サービスを、身近な価格で提供する」。これが、スカイマークのミッションです。

ここで大事なポイントは4つあります。1つ目は「安全で安心」。事業の継続において最も基本的な要素であり、言うまでもなく、すべてに優先するものです。

2つ目は、「あらゆる人々に」という点。公共交通インフラとして、誰一人取り残さない社会の実現に貢献するために、この視点は欠かせません。様々な立場の人が安心して利用できるサービスを提供します。

3つ目の「高品質」というのも重要な要素です。スカイマークは、定時運航など、公共交通インフラとしての基本の品質にこだわり、その品質を高めていきます。

最後に「身近な価格」。これはスカイマークを最も特徴づける要素です。国内の航空業界において競争環境を生み出すことを目的に設立されたスカイマークは、今日まで身近な運賃を提供し続けてきました。

「あらゆる人々に、安全で安心かつ高品質な航空サービスを、身近な価格で提供する」。このミッションを追求することが当社の最大の社会貢献だと考えています。

「空」を通じて、社会をより良く。私たちスカイマークは、これからも社会の持続的な発展に貢献していきます。



スカイマーク株式会社
代表取締役社長執行役員
本橋 学

スカイマークについて www.skymark.co.jp/

スカイマークは、1998年9月19日に羽田＝福岡線で就航した航空会社です。日本の航空業界における規制緩和により誕生しました。機材はBoeing737-800型機(177席)を29機使用し、国内12空港24路線※季節定期便を含むを運航しています。安全確保を前提に、高い運航品質とシンプルで心のもったサービスを身近な運賃で提供する独自のビジネスモデルを追求し、公益財団法人日本生産性本部サービス産業生産性協議会が公表するJCSI(日本版顧客満足度指数)調査では、新幹線を含む国内長距離交通部門における「顧客満足第1位」を、2020年度、2022年度、2023年度および2024年度の4度にわたり獲得しています。

スカイマーク品質。

